

令和5年度 病害虫発生予察情報

注意報 第5号

令和5年6月29日
岩手県病害虫防除所

りんごの褐斑病と斑点落葉病の発生が平年より早まっています。

多発が懸念される場合には、速やかに特別散布を実施しましょう。

- 1 対象作物、病害虫 : りんご、褐斑病・斑点落葉病
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期（加害時期） : 早
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠

【褐斑病】

- (1) 基準圃場（北上市成田、ふじ、無防除）の初発生は、5月第4半旬であり過去最も早かった。6月第6半旬時点の新梢葉での発病葉率は50.3%（平年1.4%）で平年より高かった（図1）。
- (2) 6月後半の巡回調査では、複数の園地で早期発生が確認され、発生園地率は16.1%（平年2.6%）で平年より高かった（図2）。
- (3) 基準圃場での初発時期が早い年や、一般園地でも早期発生が複数確認される年には、秋期になると広域的に発生する傾向である（平成29年度病害虫防除技術情報 No. 29-1「りんご褐斑病の多発要因の解析と発生予察法の改善」）。

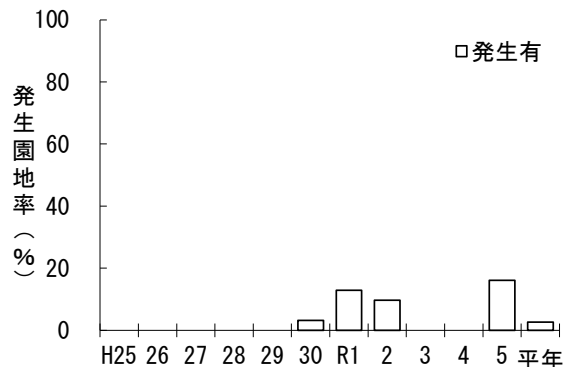
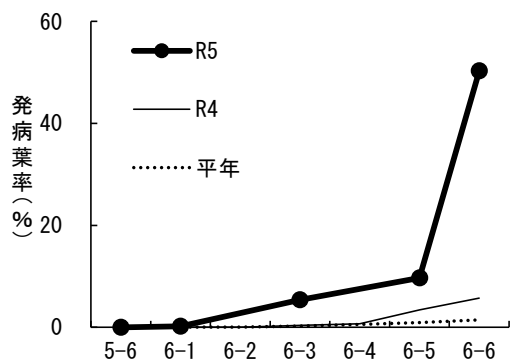


図1 基準圃場における褐斑病の発病葉率の時期別推移（半旬別、ふじ、新梢葉、無防除）

図2 褐斑病の発生園地率の年次推移（6月後半）

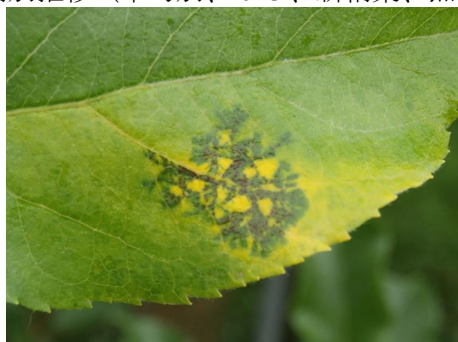


図3 褐斑病の病斑（黒色虫糞状の粒々が特徴）

【斑点落葉病】

(1) 基準圃場（北上市成田、スターキングデリシャス、無防除）では、6月第3半旬から第4半旬にかけて急増した（図4）。

(2) 6月後半の巡回調査では、発生園地率は51.6%（平年18.1%）で平年より高かった。また、発生程度中以上の園地は12.9%（平年0.3%）で平年より高かった（図5）。

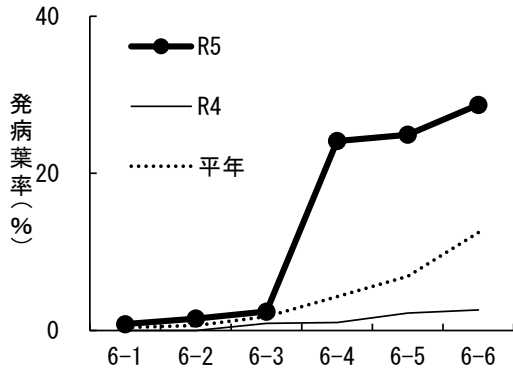


図4 基準圃場における斑点落葉病の発病葉率の推移（半旬別、スターキングデリシャス、新梢葉、無防除）

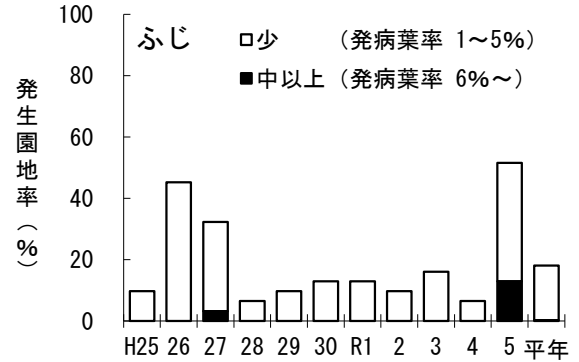


図5 斑点落葉病の発生園地率の年次推移（6月後半、新梢葉、ふじ）



図6 斑点落葉病の病斑（基準圃場、スターキングデリシャス）

6 防除対策

- (1) 今後の発生動向に注意するとともに、多発が懸念される場合には6月下旬～7月上旬の定期散布に合わせて、褐斑病・斑点落葉病に効果の高いユニックス顆粒水和剤47を特別散布する。
- (2) 散布ムラが生じないように十分量を丁寧に散布する。降雨が予想される場合は、降雨前に散布する。
- (3) 薬剤がかかりやすいように不要な徒長枝は剪除する。

☆農薬危害防止運動実施中(6/1～8/31)☆

【利用上の注意】

本資料は、令和5年6月21日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際は（1）使用基準の遵守（2）飛散防止（3）防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

